

## ＜調査結果報告＞

# 三重県内企業の業況判断 BSI（前年同期比）はほぼ横ばい 水準では2桁プラス

弊社では、企業経営者からみた景気の動向を把握するため、三重県内の事業所を対象に半年ごとに景気見通しの調査を行っています。7月に実施した調査結果を取りまとめましたので報告します。  
※詳細は、『景況調査 No.178』をご参照ください。

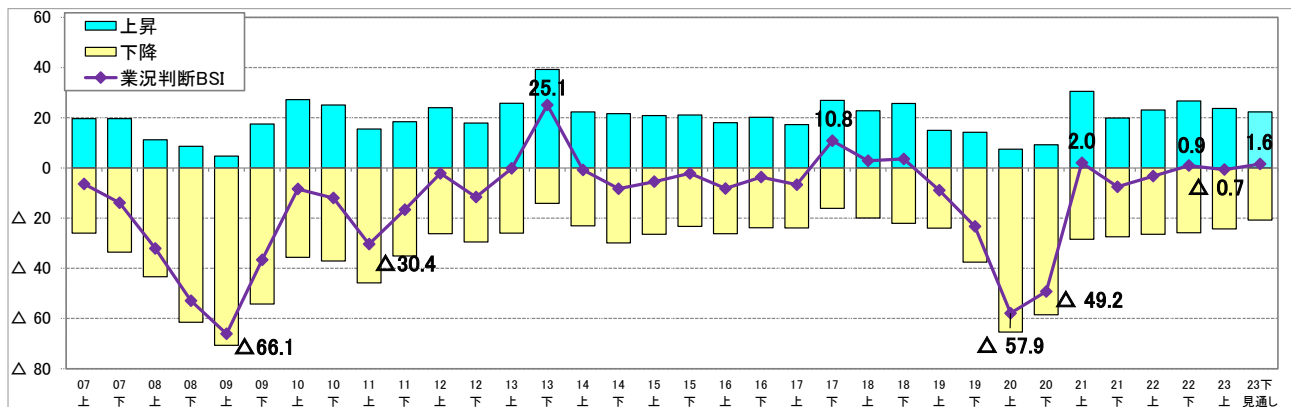
【担当】株式会社百五総合研究所 コンサルティング事業部 調査グループ 谷ノ上（たにのうえ）  
三重県津市岩田21番27号 TEL059-228-9105、080-6961-5358

**三重県内の企業の業況判断 BSI**（景気が前年同期と比べて「上昇」と答えた企業の割合から「下降」と答えた割合を引いて指数化したもので、“変化方向”を示す）は、2023年度上期は△0.7となり、わずかなマイナスに転じたが、23年度下期は+1.6とややプラスに転じる見通しとなった。業況感は、前期の22年度下期（+0.9）からほぼ横ばいで推移する見通し。

“水準”を示す業況判断（「良い」－「悪い」）については、23年度上期・下期ともに、2桁プラスの高水準で推移する見通し。

コロナ感染症の5類移行に伴う消費の回復、半導体不足等の供給制約（仕入れ難）の緩和に伴う生産・販売の回復、仕入価格の上昇傾向の落ち着き、価格転嫁の進展などを背景に、水準は上向き。

■図表① 業況判断 B S I の推移



★「BSI」＝（景気は上昇とみる事業所数－景気は下降とみる事業所数）／有効回答事業所数 ×100  
ビジネス・サーベイ・インデックスの略称。ここでは前年同期と比べた「上昇」「下降」の変化方向を示す。

### 【調査の概要】

- 調査対象： 三重県内の事業所 1,033 先（回答 450 先／回答率 43.6%）※本文では企業と表記
- 調査時期： 2023年7月中旬～7月下旬
- 調査方法： アンケート票送付・web アンケート
- 調査対象期間： 2023年度上期（23年4月～9月）実績見込み  
2023年度下期（23年10月～24年3月）見通し

※「22年度下期」＝前期、「23年度上期」＝今期、「23年度下期」＝来期 と表記。

※「大・中堅企業」12.2%、「中小企業」87.8%。

※「大・中堅企業」は資本金1億円以上。「中小企業」は資本金1億円未満＋個人事業。

## 【調査結果の要旨】

- 三重県内の企業の業況判断 BSI（前年同期比、変化方向）は、2023 年度上期は△0.7となり、わずかなマイナスに転じたが、23 年度下期は+1.6とややプラスに転じる見通しとなった。業況感は、前期の 22 年度下期（+0.9）からほぼ横ばいで推移する見通し。 [図表①・②]
- 売上高 BSI は今期・来期ともプラスと、増収傾向で推移。[図表④]
- 最大の懸念事項であった仕入価格 BSI はプラス幅が縮小し、上昇傾向は落ち着きを見せ始めている。「経営上の問題」では、「原材料高」が 3 期連続の 1 位となったが、割合は低下した。「仕入価格上昇分の 7 割以上を価格転嫁できている」企業は 61.7%と、22 年 7 月の 48.2%、23 年 1 月の 58.9%から上昇した。 [図表⑤・⑦・⑩]
- 価格転嫁の進展を背景に、採算 BSI はマイナス幅が縮小し、改善に向かいつつある。 [図表⑥]
- 原材料・部品不足など「仕入れ難」にある企業は 29.3%と、22 年 7 月の 51.0%、23 年 1 月の 38.1%から低下し、供給制約は徐々に解消に向かいつつあるとみられる。 [図表⑧]
- 業況判断 BSI を業種別にみると、 [図表②]  
製造業は、今期（△2.3）マイナス幅が縮小し、来期（+7.5）はプラスに転じる見通し。石油・化学、食料品、窯業・土石は、今期・来期とも 2 桁プラス。価格転嫁の進展や増収により、採算が好転傾向。輸送用機器は、半導体不足の緩和による自動車生産回復等で、来期は 2 桁プラスの見通し。  
非製造業は、今期（+2.4）3 期連続のプラス、来期（△1.6）はややマイナスに転じる見通し。観光・宿泊は、今期・来期とも全業種で最大のプラス（+50.0→+45.0）となった。今期は、コロナ 5 類移行、全国旅行支援効果で需要回復。来期も、需要増、値上げ、設備投資効果などにより好調を維持。小売は、今期 2 番目のプラス幅。価格転嫁進み、採算が好転。自動車販売では生産回復による納期遅延解消で販売増。メイク用品、土産物、サービス業向け制服販売などでは、コロナ 5 類移行で需要が回復するなど、増収見込みの企業が多くみられた。一方、運輸・倉庫は、価格転嫁の進みが鈍く採算が厳しい。建設は人手不足感が最も高い。
- なお、「水準」を示す業況判断（「良い」－「悪い」）は、23 年度上期・下期ともに、2 桁プラスの高水準で推移する見通し。非製造業は高水準、製造業もプラスで推移。 [図表⑨]
- 設備投資を実施する企業割合（投資額 500 万円以上）は、今期 46.4%となり、前期比ほぼ横ばい。3 期連続でコロナ禍前の 19 年度下期（44.7%）の水準を上回った。 [図表⑩]
- 人員過不足感は +49.6 で依然高水準。「不足」「やや不足」の割合は計 57.0%、非製造業で 69.5%。 [図表⑫・⑬]
- 賃上げ率は、回答平均で 3.30%と大きく上昇。特に、「ベースアップ」の割合が上昇した。

[⇒ ★別紙調査レポート「三重県内企業の賃上げ率、3%超える」ご参照]

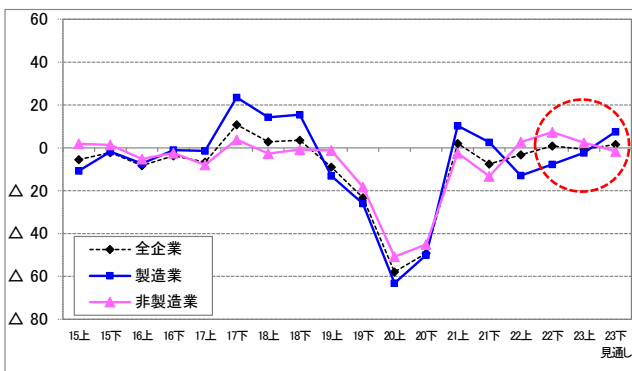
■図表② 業況判断BSI（前年同期比、変化方向）＜業種別・企業規模別＞の推移

(前回調査時点)

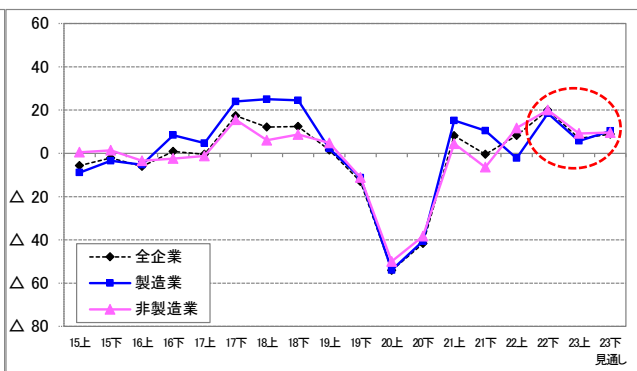
		19上	19下	20上	20下	21上	21下	22上	22下	23上 (見通し)	23下 (見通し)	
全企業		△ 8.9	△ 23.3	△ 57.9	△ 49.2	2.0	△ 7.5	△ 3.3	0.9	0.5	△ 0.7	1.6
規模別	大・中堅企業	△ 6.3	△ 23.8	△ 66.7	△ 47.2	35.3	△ 4.0	0.0	△ 3.8	0.0	△ 3.6	△ 3.6
	中小企業	△ 9.3	△ 23.2	△ 56.6	△ 49.5	△ 2.3	△ 8.0	△ 3.7	1.6	0.5	△ 0.3	2.3
業種別	製造業	△ 13.1	△ 26.0	△ 63.2	△ 50.0	10.3	2.6	△ 12.9	△ 7.7	0.5	△ 2.3	7.5
	食料品	0.0	△ 24.1	△ 37.8	△ 40.0	△ 21.4	△ 18.5	△ 4.0	3.8	15.4	19.0	14.3
	繊維	△ 12.5	△ 50.0	△ 87.5	△ 75.0	62.5	△ 16.7	△ 75.0	△ 50.0	△ 25.0	△ 20.0	△ 20.0
	印刷	△ 10.0	△ 33.3	△ 62.5	△ 88.9	10.0	△ 14.3	16.7	△ 50.0	△ 28.6	0.0	△ 12.5
	石油・化学	△ 14.3	△ 40.0	△ 64.7	△ 61.5	10.0	44.4	25.0	20.0	13.3	23.1	38.5
	窯業・土石	△ 7.1	△ 14.3	△ 57.1	△ 38.5	△ 9.1	10.0	△ 21.4	△ 18.2	27.3	12.5	18.8
	一般機器	△ 40.0	△ 23.8	△ 64.0	△ 71.4	22.2	△ 5.6	△ 7.1	△ 14.7	0.0	△ 6.1	△ 6.1
	電気機器	△ 6.7	△ 11.8	△ 85.7	△ 37.5	7.1	6.7	0.0	0.0	0.0	△ 26.1	4.3
	輸送用機器	△ 23.3	△ 39.1	△ 81.5	△ 38.5	41.2	8.7	△ 42.9	△ 16.7	△ 6.5	△ 4.0	20.0
	その他製造	△ 10.6	△ 20.9	△ 62.5	△ 48.9	△ 6.3	10.5	△ 15.4	△ 2.9	△ 8.8	△ 10.3	0.0
	大・中堅企業	△ 3.1	△ 38.2	△ 74.2	△ 46.2	50.0	4.5	△ 11.5	△ 3.8	0.0	8.3	8.3
	中小企業	△ 15.2	△ 23.1	△ 61.0	△ 50.7	3.5	2.3	△ 13.2	△ 8.3	0.6	△ 4.0	7.4
	非製造業	△ 1.2	△ 18.3	△ 50.8	△ 45.1	△ 2.4	△ 13.2	2.7	7.4	2.2	2.4	△ 1.6
	建設	1.2	△ 12.5	△ 23.0	△ 34.7	△ 11.1	△ 16.9	△ 7.7	△ 6.1	△ 15.2	△ 15.4	△ 18.5
	不動産	△ 6.7	△ 15.4	△ 54.5	△ 53.8	△ 44.4	△ 20.0	△ 11.1	0.0	0.0	0.0	△ 10.0
	卸売	△ 6.3	△ 18.5	△ 63.3	△ 56.0	△ 4.2	△ 7.7	0.0	7.1	△ 3.6	△ 6.9	△ 13.8
	小売	△ 2.9	△ 48.5	△ 56.1	△ 21.4	2.6	△ 48.6	△ 17.1	0.0	7.7	32.5	17.5
	運輸・倉庫	3.7	△ 24.1	△ 76.0	△ 73.3	3.0	△ 11.1	△ 23.3	0.0	△ 11.1	△ 15.6	△ 15.6
	観光・宿泊	21.4	10.0	△ 100.0	△ 78.3	9.1	△ 8.3	64.3	88.2	52.9	50.0	45.0
サービス	△ 8.7	△ 14.9	△ 40.7	△ 39.6	6.0	15.6	17.3	8.9	15.6	0.0	3.8	
大・中堅企業	△ 6.7	△ 3.6	△ 59.4	△ 48.1	22.2	△ 10.7	9.7	△ 3.8	0.0	△ 12.9	△ 12.9	
中小企業	△ 0.5	△ 20.2	△ 49.6	△ 44.7	△ 5.4	△ 13.6	1.8	8.8	2.4	4.6	0.0	
地場産業	△ 53.8	△ 52.0	△ 86.7	△ 82.1	△ 6.7	△ 16.0	4.0	5.6	△ 22.2	△ 19.2	△ 7.7	
製材	△ 66.7	△ 50.0	△ 57.1	△ 33.3	25.0	28.6	12.5	△ 28.6	△ 42.9	△ 75.0	△ 25.0	
真珠養殖	—	100.0	—	—	△ 100.0	—	100.0	100.0	100.0	—	—	
真珠加工販売	△ 25.0	0.0	△ 100.0	△ 100.0	0.0	0.0	△ 25.0	25.0	△ 25.0	25.0	25.0	
銑鉄鑄物	0.0	△ 75.0	△ 100.0	△ 100.0	100.0	△ 100.0	△ 100.0	—	—	△ 50.0	△ 50.0	
萬古焼製造	△ 60.0	△ 33.3	△ 100.0	△ 100.0	0.0	△ 40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
萬古焼卸売	△ 75.0	△ 75.0	△ 88.9	△ 90.0	△ 36.4	△ 37.5	14.3	25.0	△ 25.0	11.1	0.0	

※地場産業と繊維、印刷、印刷はサンプル数が少ないため指数の振れに注意する。—は回答がなかったことを示す。

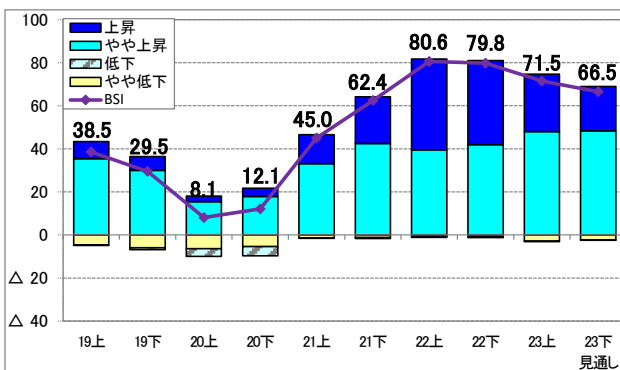
■図表③ 業況判断BSI（業種別）の推移



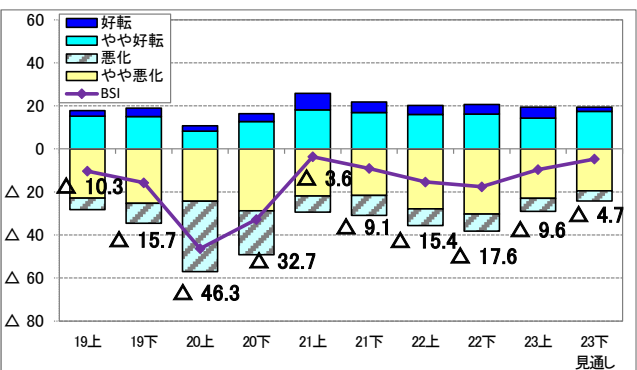
■図表④ 売上高BSI（業種別）の推移



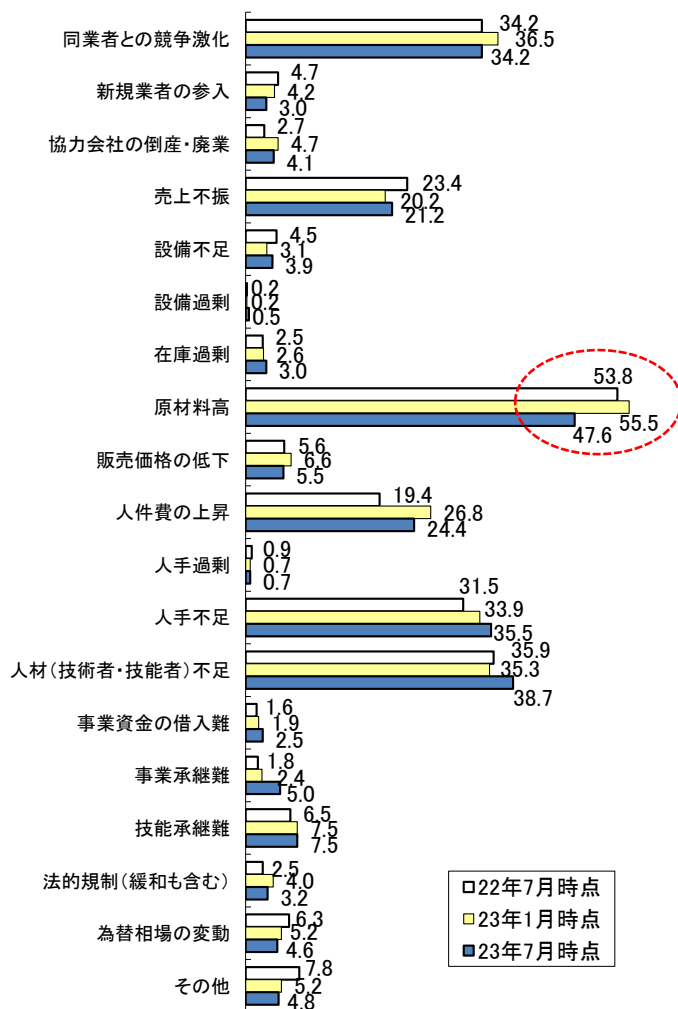
■図表⑤ 仕入価格BSI（業種別）の推移



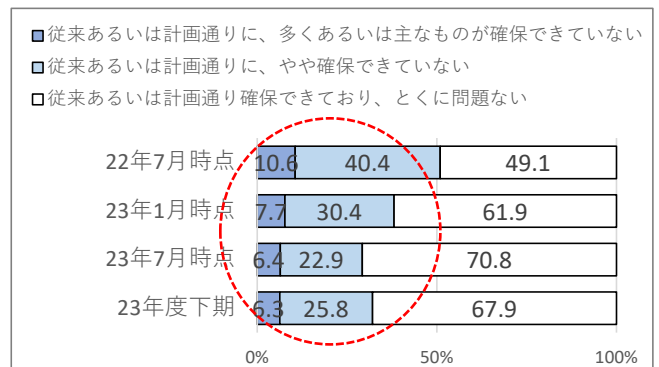
■図表⑥ 採算BSI（業種別）の推移



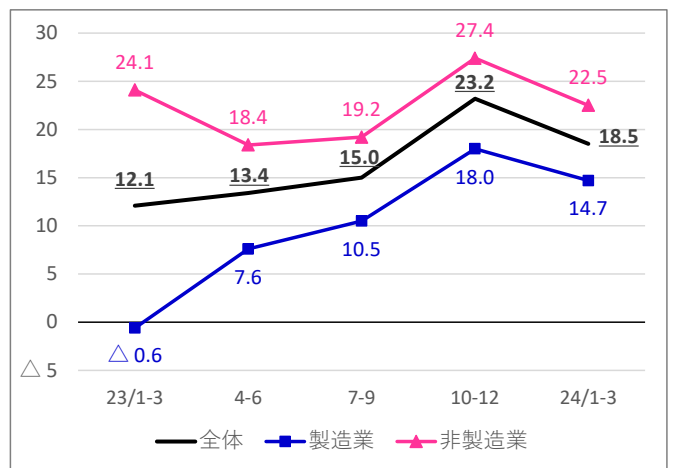
■図表⑦ 経営上の問題（複数回答）



■図表⑧ 仕入れ難の状況（数量・納期）

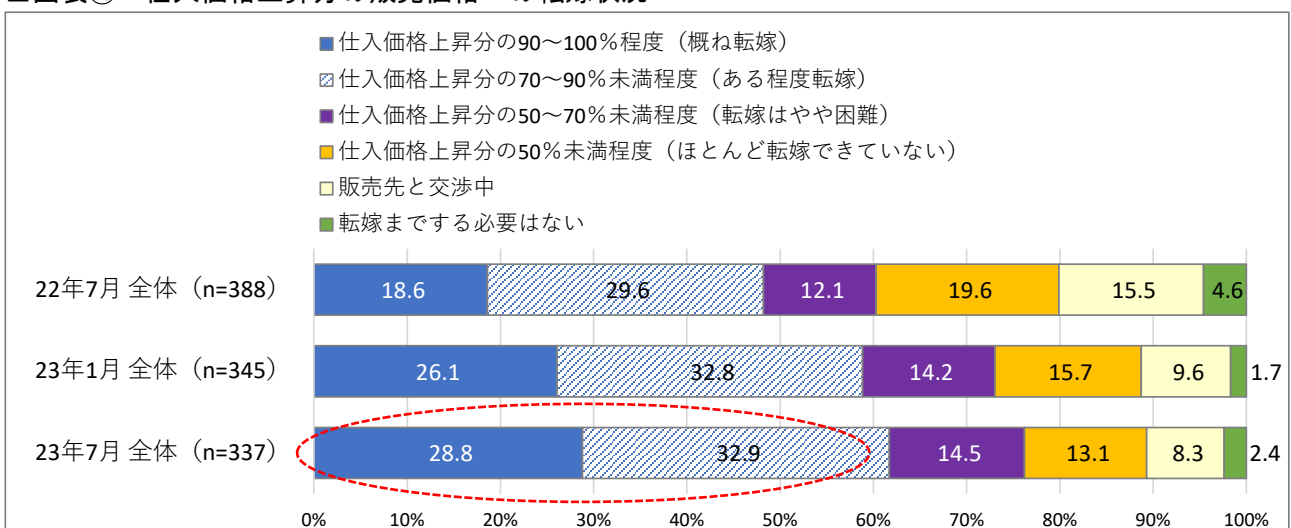


■図表⑨ 業況判断（水準、四半期）

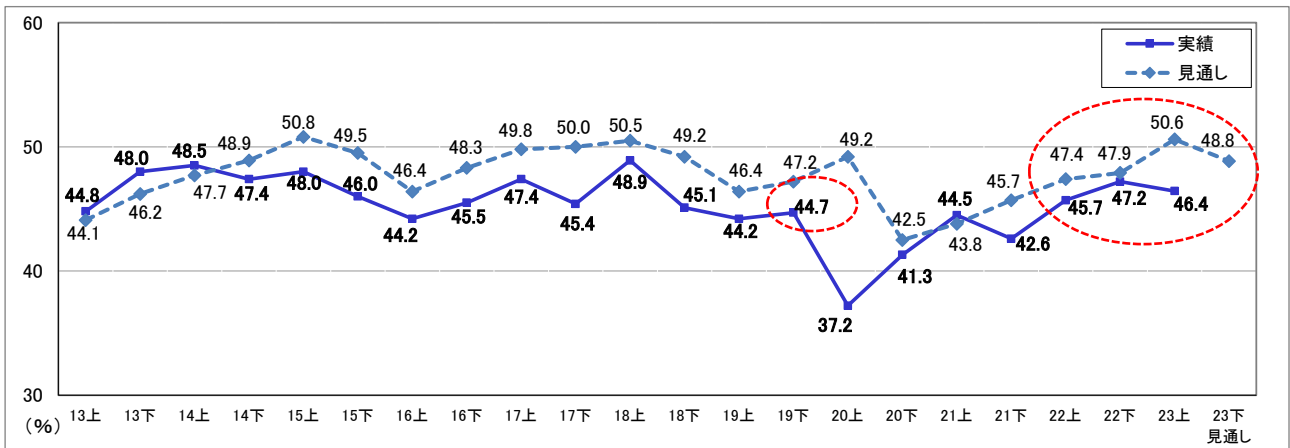


※業況が「良い」の回答割合－「悪い」の回答割合

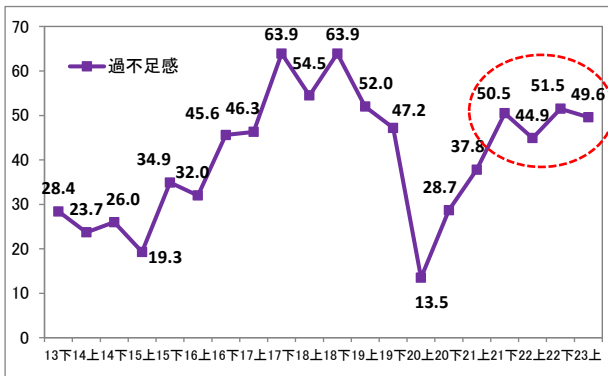
■図表⑩ 仕入価格上昇分の販売価格への転嫁状況



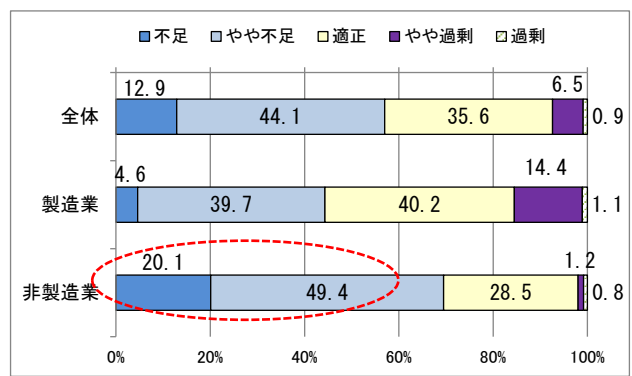
■ 図表⑪ 設備投資実施企業割合の推移（投資額 500 万円以上）



■ 図表⑫ 人員の過不足感の推移



■ 図表⑬ 人員の過不足感（2023 年度上期、業種別）



(※)過不足感 = (「不足」 + 「やや不足」と回答した企業の割合 - (「過剰」 + 「やや過剰」と回答した企業の割合

以上